

下関小ねぎ現地検討会を開催

下関農協ねぎ生産出荷協議会が小ねぎの現地検討会を行いました。

分類：新着ニュース, 農業

登録日：平成 28 年 8 月 4 日 | 下関農林事務所農業部

下関市安岡地区は、県内の小ねぎ主産地で、古くから栽培が盛んに行われています。

平成28年7月26日(火)に、生産者8名のほか JA 下関と下関農林事務所農業部の職員3名が参加し、下関ねぎ生産出荷協議会(会長:村中正幸氏)による現地検討会が開催されました。

はじめに、参加生産者2名のねぎハウスを回り、生育状況を確認しながら、水管理やハウス換気等、夏季における栽培管理の方法について、生産者間で活発に意見が交わされました。

ハウス巡回後、JA下関の職員からねぎ選別調製場の稼働状況や販売状況について報告されました。今月から小袋規格の取引が増えたことを受け、需要が最も高くなる年末に向けて、より一層の生産拡大に力を入れていこうと、生産者の意欲が高まりました。

同協議会では、ねぎ選別調製場による出荷調製作業の省力化や定期的な現地検討会、市場訪問による販路拡大に向けた取り組みを行うこととしており、農業部としても産地拡大や品質向上を図れるよう支援していきます。

(下関農林事務所農業部 杉山久枝)



小ねぎの生育状態を観察する様子

問合せ先

メール：a171071@pref.yamaguchi.lg.jp 電話：0837-66-1206